

短歌	掲載短歌	平成26年3月～平成31年4月	令和1年5月～
		<p>H30年4月：御堂へと続く参道雪積みて 鳥居を前に佇み祈る（*）：井上管子選</p> <p>H30年4月：一輪の流れ着きたる雪椿 堪えぬきし冬を緋に秘めており（*）：大滝 保選</p>	<p>R4年6月：山里の早苗の田の面に映りおる 雪斑なる飯豊の山並み（**）：佐藤幹夫選</p> <p>R4年8月：朽ちてなお青空割きて凜と立つ 白骨木は樹林の中に（*）：大滝 保選（筆頭三席）</p> <p>選評 「白骨木」とは樹皮が剥がれて真っ白になった巨大な枯れ木。枯れてもなお威厳と風格を生きた樹林の中で誇示している。上の句に勢いがある。</p>
共同制作の写真短歌（*）&写真短歌（**）	*・**他人の写真に自身の短歌 *・写真も短歌も自身の作品	 <p>写真短歌：山形市宮成石行寺 短歌：平成30年4月10日付け「やましん歌壇」掲載歌（井上管子選）</p>  <p>写真短歌：山形市門田大字地区雪椿 短歌：平成30年4月10日付け「やましん歌壇」掲載歌（大滝 保選）</p>	 <p>写真短歌：山形市宮成石行寺 短歌：平成30年4月10日付け「やましん歌壇」掲載歌（井上管子選）</p> <p>知人の安孫子氏が Facebook へ投稿された写真に、当方が詠草を添え、了承をいただいて共同制作の写真短歌作品に仕立てました。</p>  <p>写真短歌：宮城県南蔵王 短歌：令和1年8月22日付け「やましん歌壇」掲載歌（大滝 保選）</p>
作品	短歌	下記の写真短歌の短歌を含めて86首	下記の写真短歌の短歌を含めて110首（令和7年10月まで）
	写真短歌	38作品（自身の作品：37＋共同制作：1）	77作品（自身の作品：51＋共同制作：26）